

2023年4月号

ハノイ日本人学校 学校便り

こころの道

令和5年4月11日

Nhân hậu Thông minh Khỏe mạnh



やさしく

ニャンハウ

かしこく

トンミン

たくましく

ホーエマイン



校長 佐藤之保

『深く結ばれた両国の絆』の中で！

～手と手を取って 未来へ世界へ～

近年の外務省による「海外在留邦人数調査統計」や厚生労働省による「日本における外国人雇用状況」によると、我が国にとってベトナムの人々との交流は、他国に比べてとても盛んであるといえます。そこからは『深く結ばれた両国の絆』を感じます。

1973年9月21日、我が国とベトナムが外交関係を樹立し、その後、多様な分野での日越間の友好的な協力関係が積み重ねられ、2023年の今年、その外交関係樹立50周年を迎えました。現在の両国の人的交流は、その両国の歴史の積み上げからの大きな成果の一つであると確信します。そして今後も、両国関係は、更に大きく飛躍していくものと信じます。

そして、そんな大切な節目の年に、ハノイ日本人学校の校長として赴任させていただいたことを、とても幸せに感じます。

現在我が国の学校は、新型コロナウイルス感染症の影響も続き、いじめ・不登校等の多くの課題を抱えています。私はそのような中、36年間の教職を定年退職した後に、東京都教育委員会で、数多くの都民の皆様からの教育相談を伺ってきました。一人一人の相談者の方と一緒に、子供の明日への希望とその道筋を探してきました。

その様な状況の中、「手と手を取って 未来へ世界へ」という、日越外交関係樹立50周年のテーマとなっているそのフレーズは、とても素晴らしい響きで聞こえてきます。私には、そのフレーズから、多くの子供たちの笑顔が思い浮かんできます。

私は、この節目の時に、ハノイ日本人学校の子供たちが、世界規模の広い視野を持ち、多くの問題を抱える社会生活を乗り越えて、より豊かな人生を生きる力を身に付けることができる学校を目指します。

全教職員とともに、この『深く結ばれた両国の絆』の中で！

どうぞ皆様、御協力をお願いいたします。